

年月日	24 12 16	ページ	01	NO.	
-----	----------	-----	----	-----	--



SMFLみらいパートナーズが出資する会社は、燃費効率が高いLNG運搬船を保有する

三井住友F.L.定期用船参入 三菱商事・日本郵船と連携

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は三菱商事、日本郵船と連携し、年内にも定期用船事業に参入する。環境に配慮した船舶の貸し出しに加え、船長や船員の手配、船舶の維持管理などを担う輸送サービスを海運会社を提供する。環境負荷の低減に貢献する液化天然ガス(LNG)運搬船や水素・アンモニア運搬船、洋上風力発電の支援船などを中心に船舶を増やす。2030年度までに船舶の取得で累計数百億円の投資を想定する。

定期用船事業を始め、三菱商事、日本郵船の船舶保有会社2社に對する出資を通ずる見通し。

SMFLみらいパートナーズ(東京都千代田)は、定期用船事業に参入する見通し。

トナーズはこれまでも海運物流事業を手がけていたが、船舶のみを貸し出す裸用船事業が中心だった。今後も船舶を保有する企業と組んで事業規模を拡大する方針。

同社が出資する2社は、燃費効率が高いLNG運搬船を保有する。引き続き、脱炭素につながる船舶の保有会社などに出資し、手がける隻数を増やす計画。

リース大手ではオリックスや東京センチュリーなどがバラ積み運搬船の定期用船事業を展開する。SMFLは脱炭素につながる船舶を手がけることで、他